

## 安全データシート

整理番号：2015064035

作成：2016/02/18

改訂：2022/07/27

製品名： Ink for KM-1 HS101C

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称： Ink for KM-1 HS101C  
供給者の会社名称： コニカミノルタジャパン株式会社  
住所： 東京都港区芝浦1-1-1 浜松町ビルディング  
担当部門： 0120-805039 (お客様相談室)  
作成部門： コニカミノルタ株式会社  
環境統括部  
(TEL:042-660-9409, FAX:042-660-9417)  
緊急連絡電話番号： 公益財団法人 日本中毒情報センター  
(事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る)  
中毒110番 一般市民専用電話  
(大阪) 072-727-2499(情報料無料) 365日 24時間対応  
(つくば) 029-852-9999(情報料無料) 365日 9時~21時対応

## 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	区分
引火性液体	区分に該当しない(区分外)
急性毒性(経口)	区分に該当しない(区分外)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A
皮膚感作性	区分1
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3
水生環境有害性 短期(急性)	区分2
水生環境有害性 長期(慢性)	区分2

## GHSラベル要素

絵表示：



注意喚起語： 警告  
危険有害性情報： 強い眼刺激  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
呼吸器への刺激のおそれ  
水生生物に毒性  
長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き：

安全対策 4, 7章参照  
応急措置 4, 7章参照

## 安全データシート

整理番号：2015064035

作成：2016/02/18

改訂：2022/07/27

製品名： Ink for KM-1 HS101C

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物  
成分及び濃度又は濃度範囲

成分名称	含有量 wt. %	CAS RN®	化審法	安衛法		化管法	毒劇法
			官報公示 番号	官報公示 番号	通知物質	指定物質	毒物劇物
アクリレートモノマー1	10-30	---	既存	既存	非該当	非該当	非該当
アクリレートモノマー2	10-30	---	既存	化審既存	非該当	非該当	非該当
アクリレートモノマー3	10-30	---	既存	化審既存	非該当	非該当	非該当
顔料（銅及びその化合物）	1-10	---	既存	既存	安衛法通知物質	非該当	非該当
湿潤分散剤	<3	---	届出済	届出済	非該当	非該当	非該当

## 4. 応急措置

吸入した場合： 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合： 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。  
皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。  
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合： 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
目の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。

飲み込んだ場合： 気分が悪いときは医師に連絡すること。  
直ちに水で口をすすぎ、コップ1～2杯の水を飲ませる。医師の指示があった場合のみ吐かせる。医師の診察を受ける。意識のない場合は口から何も与えてはならないし、無理に吐かせようとしてはならない。

## 5. 火災時の措置

消火剤： 水噴霧、粉末、二酸化炭素、泡

使ってはならない消火剤： 情報なし。

特有の消火方法： 消火の際は自給式呼吸器具及び完全保護具を着用する。側面から水をかけて容器を冷却する。作業は安全な場所から行う。

## 安全データシート

整理番号：2015064035

作成：2016/02/18

改訂：2022/07/27

製品名： Ink for KM-1 HS101C

---

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置：	保護具を着用する（8章参照）。
環境に対する注意事項： 封じ込め及び 浄化の方法及び機材：	立ち入り前に換気を行う。 環境への放出を避けること。 漏出物を回収すること。
二次災害の防止策：	危険でなければ漏れを止める。盛土で囲って流出を防止する。 砂又は他の不燃性吸収剤で吸収し、空容器に回収する。 着火源となるものを速やかに取り除く。火花を発生しない安全な用具を使用する。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策：	取扱い後は手をよく洗うこと。 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
局所排気・全体換気： 安全取扱注意事項：	取り扱いは十分な換気の下で行う。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。 手などの洗浄および作業台、手袋などの清掃に中性または弱酸性の洗剤を用いると、皮膚反応を最小限に抑える効果がある。
接触回避： 衛生対策：	混触危険物質（10章参照）より遠ざける。 皮膚、粘膜、着衣に触れたり、眼に入らないようにする。適切な保護具を着用する（8章参照）。取り扱い後に手などをよく洗う。
保管	
安全な保管条件：	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 施錠して保管すること。
安全な容器包装材料：	情報なし。

---

## 安全データシート

整理番号：2015064035

作成：2016/02/18

改訂：2022/07/27

製品名： Ink for KM-1 HS101C

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策等： 取扱いは密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。

許容濃度等

成分名称	厚生労働省(安衛法)	日本産業衛生学会	ACGIH	
	管理濃度	許容濃度	TLV-TWA	TLV-STEL
アクリレートモノマー1	未設定	未設定	未設定	未設定
アクリレートモノマー2	未設定	未設定	未設定	未設定
アクリレートモノマー3	未設定	未設定	未設定	未設定
顔料(銅及びその化合物)	未設定	8mg/m <sup>3</sup> (第3種粉塵)	未設定	未設定
湿潤分散剤	未設定	未設定	未設定	未設定

保護具

呼吸用保護具： 通常の条件下では必要なし。臭気が気になる場合は、防塵マスク（粉塵、ミスト用）を着用する。

手の保護具： 不浸透性保護手袋

眼、顔面の保護具： ゴーグル

皮膚及び身体の保護具： 通常の条件下では必要なし。

## 9. 物理的及び化学的性質

製品

外観 物理的状态： 液体  
形状： 粘稠体  
色： シアン  
臭い： わずかな特異臭

融点/凝固点： データなし  
沸点又は初留点 及び沸点 範囲： データなし

可燃性： データなし  
爆発下限界及び爆発上限界 / 可燃限界： データなし

引火点： 208(°C) クリーブランド開放式（類似組成の当社製品データ）  
自然発火点： データなし  
分解温度： データなし  
pH： データなし  
動粘度率： データなし  
溶解度： 水：不溶  
有機溶剤：可溶

## 安全データシート

整理番号：2015064035

作成：2016/02/18

改訂：2022/07/27

製品名： Ink for KM-1 HS101C

n-オクタノール／水 分配 データなし  
係数(log値)：  
蒸気圧： データなし  
密度及び／又は相対密度： 1.04-1.06(80°C)

相対ガス密度： データなし  
粒子特性： データなし  
その他のデータ： VOC：0 g/L

## 10. 安定性及び反応性

反応性： 通常の取扱い及び保管条件では反応しない。  
化学的安定性： 通常の取扱い条件では安定である。  
危険有害反応可能性： 情報なし  
避けるべき条件： 情報なし  
混触危険物質： 酸化剤  
危険有害な分解生成物： 一酸化炭素、二酸化炭素、フォスフィン

## 11. 有害性情報

製品

急性毒性（経口）： 成分のデータより分類  
区分に該当しない（区分外）  
急性毒性（経皮）： データ不足のため  
分類できない  
急性毒性（吸入）： データ不足のため  
分類できない（気体）  
分類できない（蒸気）  
分類できない（粉塵・ミスト）  
皮膚腐食性／刺激性： データ不足のため  
分類できない  
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激 成分のデータより分類  
区分2A  
呼吸器感作性： データ不足のため  
分類できない  
皮膚感作性： 成分のデータより分類  
区分1  
生殖細胞変異原性： データ不足のため  
分類できない  
発がん性： データ不足のため  
分類できない  
生殖毒性： データ不足のため  
分類できない  
特定標的臓器毒性(単回ばく露)： 成分のデータより分類  
区分3(気道刺激性)

## 安全データシート

整理番号：2015064035

作成：2016/02/18

改訂：2022/07/27

製品名： Ink for KM-1 HS101C

特定標的臓器毒性(反復ばく露)： データ不足のため  
分類できない

誤えん有害性： データ不足のため  
分類できない

## 成分

## アクリレートモノマー1

急性毒性(経口)： 区分に該当しない(区分外)  
LD50:> 2000 mg/kg[ラット]

生殖細胞変異原性： 分類できない  
AMES試験:陰性

## アクリレートモノマー2

急性毒性(経口)： 区分に該当しない(区分外)  
LD50: 6200 mg/kg[ラット],  
LD50:> 5000 mg/kg[マウス]

急性毒性(経皮)： 区分に該当しない(区分外)  
LD50:> 2000 mg/kg[ウサギ]

皮膚腐食性/刺激性： 区分に該当しない(区分外)  
Mild P. I. I=1.0 [ウサギ]

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分2A  
Severe [ウサギ]

皮膚感作性： 区分1  
Strong 70% 不明 [モルモット]

生殖細胞変異原性： 分類できない  
AMES試験:陰性,  
小核試験:陰性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)： 区分3(気道刺激性)

## アクリレートモノマー3

急性毒性(経口)： 区分に該当しない(区分外)  
LD50: 9200 mg/kg[マウス]

皮膚腐食性/刺激性： 区分に該当しない(区分外)  
Mild P. I. I=1 [ウサギ]

生殖細胞変異原性： 分類できない  
AMES試験:陰性

## 顔料(銅及びその化合物)

急性毒性(経口)： 区分に該当しない(区分外)  
LD50:> 16000 mg/kg[ラット]

皮膚腐食性/刺激性： 区分に該当しない(区分外)  
None [ウサギ]

生殖細胞変異原性： 分類できない  
染色体異常試験:陰性,  
AMES試験:陰性

## 安全データシート

整理番号：2015064035

作成：2016/02/18

改訂：2022/07/27

製品名： Ink for KM-1 HS101C

## 12. 環境影響情報

## 製品

生態毒性	
急性毒性：	区分2
	成分のデータより分類
慢性毒性：	区分3
	成分のデータより分類
残留性・分解性：	製品データなし
生体蓄積性：	製品データなし
土壤中の移動性：	製品データなし
オゾン層有害性：	データ不足のため 分類できない

## 成分

## アクリレートモノマー1

生態毒性	
急性毒性：	区分2
藻類：	72hErC50: 2.1 mg/L[イカダモの一種]
残留性・分解性：	良分解性

## アクリレートモノマー2

生態毒性	
急性毒性：	区分2
魚類：	96hrLC50: 4.5~10 mg/L
甲殻類：	48hEC50: 89 mg/L[オオミジンコ]
藻類：	72hEC50: 65.9 mg/L[デスマデスマス]
慢性毒性：	区分2

## 湿潤分散剤

生態毒性	
急性毒性：	区分1
藻類：	72hErC50: 0.25 mg/L[緑藻]
慢性毒性：	区分1

## 13. 廃棄上の注意

廃棄方法： 法律に従い廃棄すること。

産業廃棄物であるため、産業廃棄物処理業の許可を受けた業者に処理を委託する。（特別管理産業廃棄物には該当しない）

## 安全データシート

整理番号：2015064035

作成：2016/02/18

改訂：2022/07/27

製品名： Ink for KM-1 HS101C

## 14. 輸送上の注意

国連分類 国連分類： クラス 9  
国連番号： UN 3082  
品名（国連輸送名）： その他の環境有害物質（液体）（印刷用インク）  
容器等級： III  
5L以下または5kg以下の製品は、下記の特別規定に従って、非危険物として輸送することができる。  
1) ICAO/IATA (A197)  
2) IMDG Code (2.10.2.7)  
3) ADR (SP375)

国内規制： 自動車/鉄道輸送は消防法の規定に従う。  
輸送の特定の “7章 取扱い及び保管上の注意” の記載による。

## 15. 適用法令

消防法： 危険物・第4類引火性液体・第4石油類  
毒劇法： 非該当  
安衛法： 名称等を通知すべき有害物（銅及びその化合物）  
PRTR法（化管法）： 非該当

## 16. その他の情報

参考文献等： 化審法の既存化学物質 安全性点検データ集（化学品検査協会）  
国際化学物質安全性カード 日本語版（化学工業日報社）  
環境化学物質要覧（環境庁環境化学物質研究会）  
新版危険・有害性便覧（中央労働災害防止協会）  
RTECS (U.S. DEPARTMENT OF HEALTH AND HUMAN SERVICE)

免責文： 記載内容は現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。危険有害性の評価は、今後の新しい知見で改訂されることもあります。また、記載事項は当製品についての通常の取扱いを対象にしており、特別な取扱いや組み合わせの場合は用途・用法に適した安全配慮の上お取扱い願います。